

発行所
道前会
愛媛県西条市明屋敷 234
愛媛県立西条高校内
電話・FAX 0897-53-2192

お堀プロジェクト～光り輝く大手門



ごあいさつ

第9代会長
真鍋 和年
(66回)

このたび縁あって伝統ある道前会の会長を仰せつかりました真鍋です。パトンタッチを受けました前会長村上俊行先生の熱意溢れるご献身振りを拝見しますにつけ、私として道前会と西条高校の隆盛・発展に何程の貢献ができるのか心許ない限りではあります。公員の皆様方のご指導、ご協力を賜り、責務を果たして参りたいと決意を致しておりますので、どうか宜しくお願いを申し上げます。いま時代は、グローバル化、高度情報化、ハイモビリティ化そして少子高齢化・人口減少の時代です。西条高校、西条市と言えども、こうした時代のトレンドと無縁ではあり得ません。西条市では、平成十六年の合併以来四千人を超える人口が減少、このため市内に六千戸を超える空き家が発生し、六百ヘクタール超の農地が耕作放棄されています。また、情報、交通環境の変化もあって、市外高校への人材流出が留まるところを知りません。私自身、四十年の西条市役所勤務は、こうした時代の潮流にどう政策的に対応すべきかが大きなテーマであったと思います。そして、いつも都市間競争を意識しての勤務でした。人口の減少は都市の衰退を招きますが、人口減少の原因は、出生率の低下よりもむしろ産業の衰退にあります。そこで中小企業支援のためにサイクス（産業情報支援センター）の立ち上げ、農業の再生を目指して経団連の「農業革新都市プロジェクト」の導入、高等教育機関の空白産業人材養成機能の欠如を補うための大学・研究機関との教育・研究交



ごあいさつ

第36代校長
佐伯 幸治

流協定の締結、愛媛大学の地域交流拠点の誘致等に取り組みました。また、大先輩である十河先生の復権を企画した顕彰事業（四国鉄道文化館・十河信二伝の刊行）や国際化対応施策として中国保定市との友好都市協定締結、国際交流員の招致、タイへの輸出プロジェクトの推進等に携わって参りました。そうした経験を道前会の会則第二条にも役立てることができればと願う次第です。都市間競争を意識すれば、西条高校には選ばれた高校として更に発展し、引き続き世界で活躍できる人材、ふるさと西条の繁栄に貢献できる人材を育成していただくことを望むばかりです。幸い道前会は西条高校を共通の「ふるさと」とする卒業生の社団にして人材の宝庫ですから、嘗て十河さんが郷土、郷党への支援を惜しまれなかったように在校生の求めに応じ様々な支援の手を差し伸べることができないのではないかと考えるところです。結びに、会員の皆様のますますのご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。就任のごあいさつと致します。

全国の道前会会員の皆様におかれましては、ますます御健勝にて御活躍のこととお喜び申し上げます。また、皆様には、平素から、母校の教育活動に、格別の御理解と御支援・御協力を賜っており、衷心より深く感謝と敬意を表する次第です。私は、平成二十九年春の異動で、石崎前校長の後任として母校に着任

ごあいさつ

第35代校長 石崎 学

清々しい五月晴れの快い季節もそろそろ終わりを告げ、梅雨の候となりました。全国の道前会の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、私事、この度の異動で、西

をさせて頂きました。微力・非才の若輩者ではございますが、母校のため精一杯努力して参る所存でございますので、今後とも末永く、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。少し自己紹介をさせて頂いたきたいと思います。私は、八十回の卒業で（三年時に八十周年記念誌「輝け道前の群像」が発刊）、理数科の十期生です。二年時には、合唱部がNHK全国学校音楽コンクールで日本一に輝きました。当時の理数科は創設十年目を迎え、今西、新西にも負けるものかと、プライドを持って勉強に打ち込んでいたように記憶しています。それだけに、現在、旧西条市の最上位の中学生が本校を希望していないという状況が余りになさけなく、はがゆいのです。校長として、何とかして、この状況を打破したい。西条高校は、本年度創立以来百二十二年目を迎えます。これまで道前会の皆様に支えられて、地域社会の中で確固たる地位を築いてまいりましたが、これからも伝統を尊重しつつ、それに安住することなく、新しい、そして魅力ある西条高校を作り上げていかなくてはなりません。そのためには、どうしても道前会の皆様方の御理解と御協力が欠かせません。なにとぞ御指導・御支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。最後に、皆様方の今後ますますの御活躍と御健勝・御多幸をお祈りいたしますとともに、道前会のますますの御発展を心より御祈念申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

条高校から松山東高校へ異動することとなりまし。西条高校在任中は、公私にわたり大変お世話になりました。残念ながら、私は本校同窓生ではございませんし、これまで本校で勤務もしたことがありませんでした。しかし、道前会の皆様方には、同窓生のように接していただき、私も同窓生のように親交を深めさせていただきました。私にとつて、まるで母校での勤務のように気兼ねなく、楽しみながらの三年間でした。本当にありがとうございます。

思い起こせば三年前、十河信二先生の生家近くにある新居浜南高校から本校に異動してまいりました。校長として大手門をくぐる時、十河先生がこの門の上に大きな地球儀を飾り、「この大手門をくぐる者は、将来世界を背負って立つべきである」との大演説を行った歴史を振り返りながら、偉大な卒業生を持つ学校の校長となることに緊張感を持ったことを覚えています。そして、本校活性化のシンボルとして、ぜひ「大手門の地球儀」をいつか飾りたいとの夢が膨らみ、幸いにし、創立百二十周年記念式典の際、その夢を実現することができました。この「大手門の地球儀」は、私の一生忘れることができない貴重な思い出となりました。そして、この度は西条高校の親とも言える松山中学（松山東高校）に異動することとなり、大変うれしく感じております。

また、本校に勤務したことがきっかけで、私の伯父の知らなかつた歴史を知ることができ、本校との不思議な縁を感じることもありました。本校の大手門から入って左の方向に、伊藤五百亀氏制作の戦没同窓生慰霊碑（荒鷲碑）があります。これは、昭和十九年十月二十五日に神風特別攻撃隊（敷島隊）隊長として初めて攻撃隊を実行した関行男氏（第三十九回卒）をはじめ、他の戦没者の霊をも合わせて建立された慰霊碑です。あることから、関氏のことを調べることで、それをきっかけとして、私の伯父の戦死の状況がわかりました。私の伯父は、第

五百二十三海軍航空隊に属し、昭和十九年三月三十日、テニアン島からペリリュー島沖に出撃し、「被弾自爆」しました。関氏がレイテ島沖の米空母セントローに爆装したゼロ戦を駆つて突入、散華される七か月前のことであり、距離およそ千km離れた場所でした。私はこのことを知つて以来、この荒鷲碑を特別な思いで見えてきました。この荒鷲碑を見る度に、伯父が「西条高校活性化に全力で」励ましているように思えます。赴任一年目は、スパーサイエンスハイスクール事業への応募、そして落選。二年目は、創立百二十周年事業の実施、新学科「国際文理科」の設置準備、三年目は、「報われぬ努力」というものがあるかもしれない。しかし、努力のない成功は絶対ない。人生チャレンジ、努力あるのにも歩んでまいりました。手前味噌かもしれませんが、荒鷲碑は「自分が花いた種である国際文理科の咲いた花」、そして西条高校の進化した姿を、三十年後の創立百五十周年のとき、見に来なさい」と、労つてくれているように思います。

最後に申し上げますが、道前会の皆様、私にとって大変すばらしく楽しい三年間を与えていただいた皆さま、ありがとうございました。道前会の益々のご発展をお祈り申し上げますと共に、会員の皆様方のご活躍をお祈りし、お礼のご挨拶とさせていただきます。

退任あいさつ

第八代会長 村上 俊行 (58回)

この度の評議員会において、五期十年間務めてまいりました会長を退任させていただくことになりました。優れた才能や能力があるわけでもない者が、この間何とか無事に役目を果たすことが出来たのは、優秀な副会長、理事の方々の温かい熱心な協力を戴いたお陰、各地の道前

部活動状況

特活課長 藤原 博

平成28年度の部活動加入生徒は、全校生徒の90・4%余りで、文武両道を多くの生徒が体現し、有意義な高校生活を送っています。

全国大会には下記のとおり多くの部が出場しました。なかでも第71回国民体育大会(岩手国体)では、本校から参加した弓道部女子2名と、監督の立井万喜教諭が、弓道競技少年女子近似的で28年ぶりに本県に優勝をもたらす快挙を成し遂げました。

運動部においては、県高校総体に193名が参加しました。主な結果では、弓道部女子団体、少林寺拳法(社会体育)女子組演武、水泳(社会体育)男子100mバタフライで優勝し、弓道部、少林寺拳法がインターハイに駒を進めることができました。冬季種目でもスキー競技で女子1名がインターハイに出場しました。四国高校総体においては、弓道部女子団体3位、少林寺拳法4位、ソフトボール部ベスト8、柔道部男子個人66kgベスト8と健闘しました。

また、全国選抜大会には、弓道部男子団体・個人、少林寺拳法が出場しています。さらに、国民体育大会でも前述の弓道部女子2名のほか、スキー競技に女子1名が出場しました。

野球部は、夏の選手権大会では3回戦で、優勝した松山聖陵と対戦しましたが、惜しくも敗れてしまいました。甲子園出場は果たせませんでしたが、また、秋季県大会では準決勝戦(ベスト4)まで進出しましたが、帝京第五・済美に連敗し、四国大会出場を逃しました。

文化部では、美術部、合唱部が全国高文祭で立派な発表をするともに、県高文祭で美術部1名が来年度の全国高文祭の出場権を獲得することができました。また、事務機械部が全国珠算・電卓競技会、簿記部が全国高校簿記コンクール、合唱部が声楽アンサンブルコンテスト全国大会に出場しました。そのほか、商業研究部が全国「商い」甲子園で初優勝、マルチアト部が全国まんが甲子園で入賞、書道部が全国書道パフォーマンス甲子園に2年連続で出場するなど、新たな分野での活躍も目立った一年でした。

また、本年度も全国大会に出場するにあたり、道前会よりその都度御芳志を賜りました。まことにありがとうございます。

また、道前会にも協賛していただきました恒例の芸術文化発表会も、8月13日に西条総合文化会館で美術部・書道部・マルチアト部が展示発表、ダンス部・日本音楽部・合唱部・吹奏楽部がステージ発表しました。多くの方々に来場していただき、感動のうちに20回目を終えることができました。

部員たちはこの発表会を励みに練習に打ち込んでいます。次回も8月13日に実施する予定です。御観覧いただき、励ましをいただければ幸いです。

校訓の文武両道の精神のもと、部活動や勉学に励む、心身ともに成長した生徒を育てたいと思っております。道前会の皆様におかれましては、今後とも暖かいご声援をいただきますようお願い申し上げます。

進路状況

平成 28 年度 卒業生

平成 29 年 4 月 7 日現在

平成 28 年度 (H29.3) 卒業生 進路状況 (決定数)

Table showing career status of graduates for平成 28 年度 (H29.3). Columns include year, category, gender, university type (National, Public, Private), and job status (Employed, etc.).

平成 28 年度 (H29.3) 卒業生 合格者数 (延べ数)

Table showing the number of qualified graduates for平成 28 年度 (H29.3). Columns include year, category, gender, university type, and job status.

進路課長

矢野裕房

国際文理科が本格的に始動し、新たに二百七十四名の新入生を迎えて平成二十九年がスタートしました。さて、今春の西条高校の進路状況ですが、国立大学の合格延べ数は九十四名(既卒生五名を含む)に達しました。内容においても、大阪大学・北海道大学・名古屋大学(二名)、岡山大学医学部医学科・徳島大学薬学部などの難関大学に合格しております。

人(昨年比 22% 増)、受験者数は五十四万七千八百九十二人(昨年比 2.1% 増)といずれも昨年に比べ微増し、現役生の志願率は過去最高となりました。国立百六十六大学の募集人員十萬三千七百七十二人(推薦 A O 除く)に対しては、平均 47 倍(前期 32 倍、中期 140 倍、後期 99 倍)の難関に挑みました。難関大学や医学科においては後期日程廃止・縮小の動きが続いており、推薦・A O 入試でより意欲の高い学生を確保する傾向がますます強まっています。東京大学の推薦入試、京都大学の特色入試に引き続き今年は大阪大学の世界適塾入試、お茶の水女子大学のフロンティア入試などが実施されました。

全国大会出場者

- List of national competition participants including categories like 全国高等学校総合体育大会, 全国選抜大会, and 文化関係.

随 想



色彩の虜となりて

加藤(西原)春美 (61回)



花のたわごと
加藤 春美 作
西条市在住

思いがけない突然の原稿依頼。高校時代、抜け殻のような三年間を過ごした私に何を書けというの？

何もやる気無く無為に過ごした三年間。小さい頃からあれ程好きだった絵を描くことすらしなくなり、部活をするでもなく、もちろん勉強もせず。それでも思い返せばそれなりの楽しい一時期だったように思います。

ぼんやり過ごしたあの時が、実は

私にとっては大切な、必要な時間だったような……。この年になったから思えるのかもかもしれません。

五歳の頃に見た絵本の鮮やかな色彩。その美しさに魅せられて絵を描き始め、その思いはずっと続いています。ひつじ年生まれの私を、母はよく言ったものです。「ひつじは、紙をよく食べる。」と。紙とエンピツがあればいつまでも描いているような子供が中学生ともなると「絵描きになる！」等と本気で思い、それを知った父が心配してお説教。そんなこんなで、父には反発するは、絵を描く気も失せて……。高校時代は、ほんとうに描きませんでした。

そんな私が、今は、花を活けたい、絵も描きたい、畑仕事もしたいとやる気に満ちているのですから、ほんとうにおかしなものです。

私が二十歳の時に亡くなった父からは、遺言のように言われました。「おまえはなんでも、やりさえすれば出来る。」と思うようなところがあつた。その自負心に気をつけろ。」とこのコトバは、ずっと胸の奥深くに居座っています。「努力しろよ。」と言ってくれたのではと、今では自分の都合の良いように解釈しています。天国の父へ

「お父さん、絵に夢中になつていた中学二年生のあの日『絵描きにな

りたいなどと、とんでもない……。』と否定してくれたから今こうして描き続けられているのかもしれない。意地っ張りの私ですから。今は、ただただ描くことに幸せを感じています。でも、思うように表現出来ないことの方が多く、苦しいこともあります。聞きましたよ。お父さんも絵を描くのが好きだったのですわね。

一昨年夏。絵を描くことに熱中する私を心配してくれた亡き父と、心が弱っている時に『絵があるだろう？』と、背中を押してくれた亡き母に感謝をこめて……。とのコトバを添えて拙い絵本ではありますが、花のたわごと」という本を出版しました。どうぞ、読んでみて下さい。ほんとうにありがとうございました。

高校時代の思い出を少し

一年五組。田舎っぺの私が、初めての高校生活一年間を一緒に過ごした級友のこと。今でもはつきりその声が聴えます。

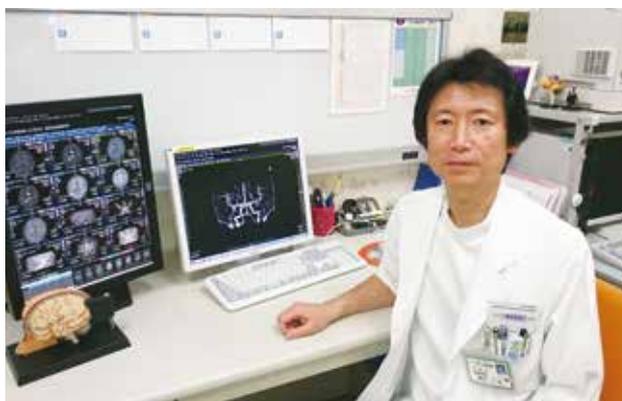
モトネセイコさん。今どうされていますか？明るく屈託のない大きな声と振る舞い。憧れつつ、遠くから羨望のまなざしで眺めていました。

久米さんお元気ですか？「裏庭の枇杷の木の下に……。」といかにも育ちのよさそうなおっとりとした話し方、いつも静かなあなたに憧れました。私は、聞きながら「ふーん、枇杷の木の下には、小さな草花の花が咲いていたりして……。」などと、空想したのを覚えています。

思い返せばほんとうに懐かしいことがいろいろ浮かんで来ます。皆さん、どうぞ いつまでも お元気で！

『西条の脳を守る』

藤田仁志 (75回)



昭和50年理数科卒業です。平成20年より村上記念病院の副院長をしております。村上記念病院で働き始めてもう17年になりますが、理事長先生も院長先生も西条高校出身であり、他にも多くの卒業生に囲まれて働きやすい環境です。脳神経外科医です。「脳外科医」というものは絶滅危惧種とまでは言いませんが、か

東京近郊119店舗・海外10店舗展開中！

くらしに灯りをともし 富士そば

ダイタングループ会長 丹 道夫 (58回卒)



名代 富士そば

NADAI FUJISOBA

なり希少動物であるとは思いますが、西条高校出身の脳外科医というのはさらに少ない存在です。全国でも脳外科医は減っています、人間が脳を持っていては限り必要である医療の専門分野ではありません。

なぜ脳外科医になったか？それは「21世紀は脳の時代」と言われていて、脳の研究をして人の役に立ちたかったからです。愛媛大学での7年間そしてカナダ・モントリオールでの2年半の間、脳の研究はよくさせていたいただきました。もう少し研究をしてから地元西条へ帰って、西条に恩返ししようと思っていました、その日は予想より早くやってきました。それが17年前です。

西条での脳外科医としての始動は想像以上に過酷なものでした。一時期、西条市民10万人に発生する脳疾患救急対応を私ひとりでは支えないといけない時期もありました。さらに西条市では神経系疾患のほとんどを脳外科医が診ないといけません。脳卒中からパーキンソン病・認知症・頭痛まで。高血圧患者さんより多いと言われる頭痛患者さんを少しでも改善させてあげようと、愛媛県初の頭痛専門医として頭痛外来も行っていきます。「治らない頭痛はない」というコンセプトで治療を行っています。

西条市の救急隊とも連携を取り、脳卒中中の急患も可能な限り受け入れています。現在は脳卒中予防のために講演活動にも力を入れています。脳卒中になっってしまうと後遺症が残

ることが多く、「脳卒中中の最大の治療法は予防」だからです。脳卒中予防には生活習慣病の予防つまり生活習慣の改善が必要で、それをもっと分かっていただきたいと思います。

また、少し脳外科とは離れますが、認知症の治療と予防にも力を入れています。認知症は日本だけでなく世界全体で急速に増加しており、世界中の問題ですが、かなり予防できるものです。この予防法の啓蒙にも努力しています。

脳卒中にしても認知症にしても、その予防法が一番のポイントは「歩き」だと思います。人類は歩けるようになったからこそ、脳が成長し、猿からヒトに進化した訳ですから。

西条は歩きのための環境にはすごく恵まれている所です。西条高校のお堀の周囲も含まれているアクアトピアの散歩道などは素晴らしいウォーキングルートです。西条市には西条市民の脳の健康を守るために歩きの環境をもっと整備していただければと思います。自分を育ててくれた西条市に少しでもお役に立てばと、希少動物としての目線で今後も努力していきます。



憧れの地「南極」へ
渡辺浩志(82回)



「人類にとっては小さな一歩だが、私にとっては極めて大きな一歩」

2015年12月23日14時過ぎ(現地時間)、観測船『しらせ』からCHヘリで離艦。数分後、ついに白夜真っ只中の昭和基地に一步を刻み、46日間に渡る夢の生活が始まりました。

何故、一介の教員が南極へ？
2009年、二代目『しらせ』の就航とともに「教員南極派遣プログラム」がスタートしました。毎年2名の教員を派遣し、基地から衛星授業

を行い、南極観測の意義や自然の魅力を未来ある子どもたちに伝えるアウトリーチ活動が主な任務です。2016年2月3日には、勤務校(新居浜西高校)で全校生徒へ向けて「南極授業」を実施しました。

高校時代の私は平凡な学生でした。旧東予市から自転車通勤。大手門に憧れ入学したものの自転車置き場がグラウンド南に新築され、門をくぐることなく過ごした3年間。小学3年から始め、中学では主将を務めた剣道も高校では止め、「帰宅部」の日々。かといって、勉学に勤しんだわけでもなく、青春を謳歌したわけでもなく、「南極」への憧れがあり北海道大学を志望していたものの二次科目の英語に自信が無くあえなく断念。経済的に浪人は出来ず、何より受験勉強は二度としたくな

かったため、岡山大学へ。しかし、夢は捨てきれず「地学科」へ入学しました。地球科学を志したのは、恩師である西山慶尚先生の影響もありました。先生は地学が専門であり、3年間担任をして頂きました。博識ぶりが垣間見える授業。私たちの卒業と同時に大学院へ入学する向学心。私が夢を諦めたものの同じ地学教師として教壇に立っているのは母校で先生との出会いがあったからこそと感謝しています。

2001年から2008年の間、母校で勤務させて頂きました。最後のクラス担任となった2003年の卒業生からは何と二組ものカップルが生まれました。(担任の知らぬ間

ジェネリック医薬品卸業
株式会社メルケア
(旧社名: 徳寿医薬株式会社)

【本社】〒762-0012 香川県坂出市林田町250-1 ☎0877-43-7711
【徳島営業所・愛媛営業所・神戸連絡所】

サービス付高齢者向け住宅
ここにこライフ高松

〒761-0101 香川県高松市春日町1649-1 ☎0120-25-0825
入居者募集中

社 長 正 木 浩 二 ・ 副 社 長 野 間 賢 次 郎 (82回卒)

に愛を育んでいたようで…)今は、一級建築士として、高校理科教師として活躍し、どちらも愛らしいお子さんも生まれ幸せに過ごしています。教師冥利に尽きます。部活動は剣道部、4年目から弓道部を担当しました。赴任1年目に女子剣道部が、2006年には男子弓道部が初のインターハイ出場となり、感動的な場面に立ち会うことも出来ました。これも冥利というものです。

私が「南極」へ興味を持ったのは、小学生の時、国語の教科書に掲載された南極観測船『ふじ』の話がきっかけでした。教員になった時点で諦めた夢でしたが、思わぬ形で叶えることが出来ました。人生、何が起るかわからないものです。ふと振り返りますと、高校時代の「不完全燃焼」のようなものが今に生かされてきたのかもと思うことがあります。校訓の「文武両立」とは程遠い学生生活。大学で剣道を再開。教員になってから、気象予報士の資格を取得し、弓道の勉強も始めました。そして、再燃した「南極」への夢…。昨年は勤務校で全国弓道選抜大会に出場させて頂き、剣道では七段に昇段することが出来ました。

今年の1月、母校で講演会を行いました。84名の後輩が希望し、南極への関心の高さが窺えました。本年は、昭和基地開設60周年にあたりますが、58次隊まで、のべ3,376名の隊員が南極の地へ降り立ちました。私の知る限りでは、過去に真木太一先輩(第62回)が第11次越冬隊

として参加しています。今後、後輩たちが次々と南極の地を踏むことを期待して止みません。観測隊では、第1次越冬隊長・西堀栄三郎の「やってみなはれ」という言葉が合言葉となつていきます。十河信二先輩の「有法子」の言葉とともに胸に秘め、微力ながら後輩の夢を育むお手伝いが出来ればと思います。



四国の酒びん、
愛媛を目指して
越智 浩 (89回)



この度、連綿と続く歴史に、国内外でご活躍の多くの卒業生に育まれ、益々の発展を続けておられます道前会様の会報誌に寄稿させて頂く機会に恵まれました。

昨年6月に愛媛県酒造組合・協同組合の理事長を拝命致しました越智浩と申します。

西条市氷見に蔵を構えます、日本酒「石鎚」石鎚酒造株式会社の特務取締役を務めております。

私が栄光と伝統の西条高等学校を卒業して、28年の歳月が過ぎました。西条高校を卒業後、東京農業大学で醸造学を専攻し、東京都内の商社で5年間勤めた後に、故郷の西条市に戻りまして、家業である酒造業に勤しんでおります。

大学、社会人と地元西条を約10年間離れた訳ですが、西条高校で学んだこと、素晴らしい学友に恵まれたことは、いつも私の中で誇りであり、厳しく困難な状況下にあっても、西条魂でこれまで歩んで参りました。

まだまだ道半ばではありませんが、これからも、いつまでもそれは変わることはありません。折角の機会でございますので、現在の日本酒業界、愛媛県の酒造業につきましてお話しさせて頂きます。愛媛県には42蔵の清酒・焼酎の醸造所がございます。

お隣の高知県は18蔵、四国で一番蔵元の軒数が多いのが私ども愛媛県です。愛媛の酒は瀬戸内海に面した風土に育まれた、やさしく、なめらかな口当たりが特徴のお酒です。

近年では、食文化の変化・多様化や日本酒を造る製造技術の向上により、「旨味があつて切れのあるお酒」として全国から注目を集めるように

なりました。

平成25年に日本の伝統的な食文化である「和食」がユネスコの無形文化遺産に登録されました。

和食と連動する形で、日本政府主導によるクールジャパン政策の一環として、「國酒」である日本酒は幅広く海外へ紹介され、その輸出量は年々大幅に伸長しています。

愛媛の酒も組合事業として、愛媛県庁のご協力を賜りながら、スイスやドイツ、シンガポール等への輸出を積極的に促進しているところでもあります。

「和食」には4つの特徴があります。

- (1) 多様で新鮮な食材とその持ち味の尊重
- (2) 健康的な食生活を支える栄養バランス
- (3) 自然の美しさや季節の移ろいの表現
- (4) 正月などの年中行事との密接な関わり

この特徴のほとんどが、食に寄り添う日本酒に当てはまると私は考えています。

県産米の「松山三井」や酒造好適米の「しずく媛」は酒造適性のある素晴らしい原料米です。

私どもでも純米酒、純米吟醸酒の醸造にこれらを使用し、お米の持ち味を充分に引き出すべく、創意工夫をもって良酒を醸しています。

石鎚山の恵みを頂きながら、四季折々の気候風土や食材に寄り添った商品開発を進め、「食中に活きる酒」としての酒造りを進めて行きたいと



日本酒 **石鎚**

石鎚酒造株式会社
西条市氷見丙402-3 ☎(0897) 57-8000(代)
ホームページURL <http://www.ishizuchi.co.jp>
E-mail sake@ishizuchi.co.jp

代表取締役社長
越智 英明 (61回卒)

専務取締役
越智 浩 (89回卒)

思います。

愛媛県の酒蔵の多くが経営者や技術者の世代交代を迎える中、「四国の酒どころ、愛媛」を海外、日本全国の皆様に認識して頂けるように、産地形成をこつこつと進めていくことも私に課せられた仕事です。

近年、私ども「石鎚」が醸し、世に送り出します日本酒は、おかげさまで全日空の国際線ファーストクラス、ビジネスクラスで、また、日本航空のファーストクラスのラウンジでご提供を頂いたり、世界のワイン業界で一番権威のある IWC (インターナショナルワインチャレンジ) の SAK E 部門でゴールド及びブリージョナルトロフィーを2013年、2016年と受賞させて頂きました。国内では2016年全国新酒鑑評会で最高位の金賞や、各種コンペティションでの受賞の栄に輝き、本年秋に開催されます愛媛国体のレセプションパーティーにおいて、公式に乾杯酒として採用され、天皇皇后両陛下にお召し上がり頂く運びとなりました。

日本酒「石鎚」は東京オリμπック・パラリンピックが開催されます2020年に創業100周年を迎えます。

国内外からのお取引や流通の要望が増える中、地元西条で愛して頂ける「地の酒」として、これからも美しい酒造りに精進して参りたいと思います。

海外や日本全国、様々な土地で、場所、故郷の酒「石鎚」を感じ取っ

て頂き、西条市に思いを馳せ、また西条高校を懐かしんで頂くことが出来ましたら、私にとつて、こんなに嬉しいことはありません。

今夜も日本酒で乾杯して下さいませ。ありがとうございます。



「応援部で得た度胸」
高橋京香 (111回)



こんにちは。このたびは、執筆の機会をいただき、大変うれしく思っております。ありがとうございます。

私は現在、NHK松山放送局でキャスターとして勤務しており、今年で3年目になります。

なぜ今、テレビに出る仕事をしているのか改めて振り返ってみると、高校時代の部活動が大きなきっかけになっていいるのかなと思います。私は、高校3年間、応援部に所属していました。入部を決めた理由は、「楽しそうだし冬場は練習がないからし

んどくなさそう！」という何とも恥づかしいものだったのですが、応援部に入ったおかげで強くなれたと思います。

私はもともと消極的で、人前でのかをするのが苦手でした。しかし、応援部というのは、球場のスタンドに立ち、ほかの生徒たちの前で野球部を応援します。しかも、大きな声で。それだけではありません。壮行会や体育祭の応援競技など、とにかく人前で披露するのが応援部です。

考えてみれば当たり前なのですが、入部を決めたときは先輩の練習風景を見て、とにかく「楽しそう」「ラクそう」という感じだったので考えが甘かったなと思います。(笑)

部活に入つて初めてみんなの前で応援を披露したのが運動部の総体の壮行会でした。とっても恥ずかしく、友人から「顔真っ赤だったね」と言われたことを今でも覚えています。

ですが、初めて野球部の試合を球場で応援したとき、そんな恥ずかしさが一瞬で吹き飛びました。私はこれまでスポーツを間近で観戦したことがなく、高校野球も正直あまり興味がありませんでした。しかし、緊張感のある球場から見える野球部の真剣な表情、ハラハラドキドキする試合の展開に、恥ずかしさを忘れ無我夢中で応援していました。それから

かもしれません。人前で披露したり発表したりするのをあまり恥ずかしがらずにできるようになりました。それに、毎年欠かさず甲子園大会を見るほど高校野球も大好きになりました。

した。

大学に進学してからも、学会の発表に参加して実験を披露したり、テレビ番組の学生リポーターにチャレンジしたりなど、自分がやってみて、興味のあることに関してとことん挑戦してきました。これら全て、そして今があるのも、応援部で私に必要な度胸をつけてくれたからだと思えます。仕事を始めて1年目の夏、高校野球の県大会でスタンドリポーターの仕事を任されたときは、とても楽しみでうれしくてたまりませんでした。私が必死になって応援していた球場、その同じ場所で仕事ができる喜びはなかなか味わえないものだと感じながら、担当した3塁側スタンドのリポーターを務めました。同じ場所で、今度は西条高校生の応援する姿を自分で伝えたいと思っております。

まだまだ未熟な私ですが、これまでの感謝や経験、そして多くの出会いを忘れず、ひたむきに進んでいきたいと思えます。

まだまだ未熟な私ですが、これまでの感謝や経験、そして多くの出会いを忘れず、ひたむきに進んでいきたいと思えます。

まだまだ未熟な私ですが、これまでの感謝や経験、そして多くの出会いを忘れず、ひたむきに進んでいきたいと思えます。

まだまだ未熟な私ですが、これまでの感謝や経験、そして多くの出会いを忘れず、ひたむきに進んでいきたいと思えます。



株式会社アドバンテック



代表取締役 山名 正英 (79回卒) 代表取締役 首藤 信生 (79回卒)
東京本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-3 丸の内トラストタワー本館25F
TEL(03)6212-2001 FAX(03)6212-2007
愛媛本社 〒793-0046 愛媛県西条市港293-1 TEL(0897)53-7711(代) FAX(0897)53-7733
URL: http://www.advantec-japan.co.jp

「国際文理科」設置元年、さらなる進化を目指して

平成二十八年度、本校では理数科を改編し新しく国際文理科としてスタートしました。国際文理科では、地域や国内のみならず国際社会で活躍できる人材の育成を目指しています。国際文理科には国際科と理数科の二つの小学科があり、理系希望だけでなく文系希望の生徒にも探究的な学習活動を積極的に推進します。国際科は、言語教育に力点を置き、自文化と異文化を深くとらえるとともに、広い視野を持ち、文化的見識とコミュニケーション能力を身につけた国際交流の担い手を養成する小学科です。理数科は、理科、数学をより深く学び、基礎的な概念や法則、科学的なものの方を身につけるとともに、科学的素養豊かな国際交流の担い手を養成する小学科です。二つの小学科とも学びのプロセスを習得させるとともに、難関大学進学に対応した学習指導を積極的に推進します。

一年生は、国際文理科・普通科を区別せずに一括募集する「くくり募集」により入学しています。二年進級時に希望調査を行い、一年次の学習成績や適性・希望進路等を総合して国際文理科クラス（四十名）が決定します。一年生では、総合的な学習の時間「探究―有法子―」を軸に、さまざまな世界を探る活動を通して、将来自分が学びたい「学問分野」、進みたい「職業分野」を決めていきます。そのために、各種講演会、先輩たちの発表会やキャリアデザイン講座に加えて、職業研究や大学研究などの体験活動を実施し、学科・コース選択のための学習をしていきます。



有法子（私のキャリアスタート）



有法子（国際理解）



学部学科説明会（愛媛大学）



職業説明会（西条警察署）



卒業生が話す「学部・学科説明会」

お堀プロジェクトを通して
～光り輝く大手門 世界へ繋がるライトアップロード～

私たち商業科マーケティング選択生は、国内でも珍しいお堀に囲まれた西条高校を少しでもアピールしたいと思い、授業の一環としてお堀プロジェクトを企画・実行しました。お堀プロジェクトは、第一弾・第二弾と二回実施しました。

まず第一弾は、カヌー協会の方からのご協力を得ながら文化祭にて、カヌー体験を行いました。初めは、お客さんが来てくれるのかなどの不安もありましたが、実施してみると参加した方からは非常に満足したと答えて頂きました。カヌー体験を通して、私たちも学年を越えた交流と、普段ではできない地域の方々との親交を深めることができました。

第二弾では、クリスマスイベントとしてお堀のライトアップを企画しました。噴水のライトアップでは市役所の方のご協力や竹灯籠の制作では大保木公民館の方や油系女子など多くの方の力をお借りし、やっとな実施することができました。計画してから実施するまでは、準備にも時間がかかり大変でした。

本番は、雨天のため一日延期となり、急ぎよプログラムの変更をしたり、十分なりハーサルも



できなかつたりと大変でしたが、予想以上のお客さんが来場してくださり、大変驚きました。色々なトラブルもありましたが、みんなが臨機応変に対応することができました。パフォーマンスでは、書道部・吹奏楽部・ダンス部・祭彩華、有志の方々に盛り上げて頂きました。一〇〇パーセント成功とは言えませんが、ステージでのパフォーマンスは最高だったと思います。寒い中ではありましたが、子どもからお年寄りの方まで非常に満足して頂き、クリスマスを彩ることができたと思います。

この企画を通して、協力することや時間の大切さを学ぶことができました。企画を成功させるためには、誰一人として気を抜いてはいけないし、時間を無駄にすることもできません。限られた時間の中でどれだけのことができるか、また企画を成功させるためにどのようにしたらいいのかを考えました。このプロジェクトは、お堀の魅力の再発見に繋がるとも充実した内容であり、地域の皆さんとの交流ができたことで良い経験にもなりました。



今回の経験で学んだことを生かして、これからの学校生活や卒業後の進路に繋がっていきたいと思います。ご協力ありがとうございました。（商業科マーケティング選択生一同）



平成28年度一般会計決算報告書

平成28年4月1日～平成29年3月31日 単位 円

収 入

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 収入額, 増 減, 摘 要. Rows include 前期繰越金, 会 費, 入 会 金, 手 数 料, 広 告 料, 雑 収 入, 前受金収入, 合 計.

支 出

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 支出額, 増 減, 摘 要. Rows include 総 務 費, 需 用 費, 通 信 費, 旅 費, 人 件 費, 事 業 費, 会 議 費, 総 会 費, 前払金支出, 予 備 費, 合 計.

収支差引額 収入額 9,104,498 - 支出額 6,839,483 = 繰越額 2,265,015

平成29年度一般会計収支予算書

平成29年4月1日～平成30年3月31日 単位 円

収 入

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増 減, 摘 要. Rows include 前期繰越金, 会 費, 入 会 金, 手 数 料, 広 告 料, 雑 収 入, 前払金収入, 合 計.

支 出

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増 減, 摘 要. Rows include 総 務 費, 需 用 費, 通 信 費, 旅 費, 人 件 費, 事 業 費, 会 議 費, 総 会 費, 予 備 費, 前受金支出, 合 計.

平成29年度事業計画書

- ◎ 会報の発行 (第25号は平成29年6月1日発行予定)
◎ 支部活動への助成並びに同期会開催等への支援・協力 (資料作成等)
◎ 卒業生へ記念品の贈呈 (卒業証書ファイル・道前賞)
◎ 新入生へ絵葉書の贈呈
◎ 生徒の全国大会出場へのお祝い (高体連・高野連・高文連主催)
◎ 文化祭における在校生への啓発活動 (道前会コーナーの開設)
◎ 文化部発表会の助成

平成28年度積立金会計決算報告書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

前期繰越額 4,000,000 (任意積立金 4,000,000)
当期積立額 0
当期取崩額 0
次期繰越額 4,000,000

平成28年度全国大会出場祝基金
会計決算報告書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

前期繰越額 1,166,479
当期積立額 0
当期取崩額 10,324
受取利息 10
次期繰越額 1,156,165

平成28年度末財産目録

平成29年3月31日 単位 円

預 金
東予信用金庫普通預金 5,521,298
愛媛銀行普通預金 1,156,165
(株)ゆうちょ銀行振替口座 739,915
伊予銀行普通預金 3,802
資産合計 7,421,180
内 任意積立金 4,000,000
全国大会出場基金 1,156,165
一般会計繰越金 2,265,015

監査報告書

適正な会計処理・報告がなされていると認めます。
平成29年4月11日

会計監査



会計監査



会計監査



平成28年度会務報告

平成28年

- 4月 7日(木) 平成27年度会計監査
4月 8日(金) 平成28年度入学式
4月20日(水) 理事会
6月 5日(日) 東海道前会総会
6月11日(土) 岡山道前会総会
6月12日(日) 東京道前会総会
6月15日(水) 理事会
6月25日(土) 近畿道前会総会
7月27日(水) 理事会
8月13日(土) 芸術文化発表会
9月 7日(水) 運動会
9月14日(水) 理事会
9月27日(火) 文化祭
10月19日(水) 理事会
10月30日(日) 松山道前会総会
11月 6日(日) 広島道前会総会
11月16日(水) 理事会
12月21日(水) 理事会

平成29年

- 1月18日(水) 評議員会
2月15日(水) 理事会
2月22日(水) 市役所道前会総会
2月28日(火) 道前会入会式
3月 1日(水) 平成28年度卒業式(第117回)
3月22日(水) 理事会

支部会だより

東京道前会

幹事長 明比 章 (70回)

東京道前会だより

平成28年度の総会は、平成28年6月12日(日)11時より、昨年と同じく素晴らしい雰囲気、明比記念館において開催されました。当日は、梅雨の合間の真夏とも思える晴天の中、約160名の方々にお集まりいただきました。

来賓として母校からは石崎校長先生、本部からは村上会長、また、西条市から青野市長、近畿道前会から三浦会長、東海道前会から森山副会長にお越しいただきました。更に、今年はアトラクションとして、同窓生の原作・脚本によるミュージカル「走れ!夢の新幹線」の短縮版ビデオを上映いたしました。それが、それにちなみ、その主人公である十河信二大先輩のご子息やお孫さんたちも駆けつけて下さいました。

総会は、東京道前会山内会長の開会の挨拶に始まり、来賓として石崎校長先生と村上道前会長にご挨拶をいただきました。また、青野市長からは、西条市の今についてのお話をいただきました。

続いて明比幹事長から活動・会計報告、事業計画・予算案、人事案の上げや、得永会計監事から監査報告などがあり、賛成多数で承認されました。さらに退任役員のご紹介がありました。

このあとアトラクションとして、前述のミュージカル「走れ!夢の新幹線」について、原作の津田さん・脚本の村上さん(いずれも74回)のご挨拶があり、短縮版ビデオが上映されました。上映後、十河大先輩のご子息からご挨拶をいただきました。引き続き懇親会は、例年のように年の差が70歳ほど開いた大先輩の国田さん(44回)と、今年母校を卒業した最年少116回は7人全員が女性でしたが、皆さんにご登壇いただき、それぞれ一言ご挨拶をいただき、華やかで、国田さんの乾杯の音頭で幕を閉じました。

懇親会では、今回も寺田運営委員長が会場を回って初参加の方々の紹介をいたしました。恒例のお楽しみ抽選会では、村上副事務局長の司会のもと、くじ引きなどに学生の方々にもお手伝いいただきました。当たった人の周りではその都度、歓声が起こっていました。

最後は恒例の女学校校歌に始まり、南海道前、校歌に続いて、本会応援団長の秋山さんと十亀さんリードのもと、応援歌を元気よく歌って盛り上がりました。締めくくりにして、近藤副会長の閉会の挨拶があり、来年の再会を期して、今年の楽しい総会の幕を閉じました。

その他の活動として、今年も母校の文化祭に和運営副委員長と、大学2年生の山内皓貴さん(115回)が参加させていただきました。今回で7年連続の参加となりました。山内さんは、在学時に生徒会長をしていた関係で、文化祭の開会式で在校生に話をする機会を先生からいただいたそうです。道前会のブースでは、和田さん、山内さんから東京道前会の紹介や東京生活のガイドダンスを行い、在校生からは「東京での生活経験のある先輩と話せてよかった」という声が聞かれました。在校生と年齢が近く、在校生の顔も知っている山内さんが、大学生の目から見た東京道前会の話をしたことは、在校生に対する東京道前会のアピールに一役買ったものと考えます。



東海道前会

副会長 森山桂一 (60回)

東海道前会活動報告

1、平成28年度東海道前会総会は6月5日(日)13時より来賓として母校から石崎校長先生、本部から村上会長、東海道前会から近藤副会長の来臨を賜り名古屋駅前キャッスルプラザで会員23名と来賓3名の計26名の参加のもとに開催された。

本年度は夫婦ともに会員である場合夫婦割引をもうけて参加者の増員を試みたが夫婦で参加したのは1組にとどまった。しかし今後とも増員の努力が必要と考えたい。

山路会長(50回)挨拶のあと来賓の石崎校長先生が十河元国鉄総裁が在学中大手門に地球儀を掲げ世界に雄飛する国際人たれと檄を飛ばした故事になり創立120周年の節目に実際に地球儀を掲げたお話をされ、又村上道前会長が記念事業としてフランスで活躍している日浅和美氏(63回)の描いた綴帳を新体育館に道前会が寄贈するにあたり会員の追加支援で資金を賄うことができたこと、国際文理科が設置されたこと、在校生のイギリス留学制度継続のため道前会で資金援助のお話をされたことなどグローバルに活躍できる人材の輩出を願って尽力されていることに感銘を受けた。

総会は幹事長が体調不良で欠席したため長野副幹事長(58回)が司会を、年次報告、次期計画については森山副会長(60回)が行った。

次期役員については野間啓佑氏(112回)が東京に転出して退任し新たに妻鳥勝行氏(71回)と本田初美氏(78回)の幹事新任が承認された。会計報告は矢葎延美会計幹事(58回)が行ったが東海道前会支部としての会費を集めていないのでもって全会員に寄付をお願いしていたところ129口、12万9千円の寄付が集まった。これを会誌の発行など活性化に活用する予定である。



2、

恒例の東海道前会親睦ゴルフ大会が11月29日、東名古屋カントリークラブ東コースで山路会長以下10名が参加して開催された。成績は山路会長(52回)が優勝し、2位は3年連続優勝をねらった遠山和弘氏(65回)、3位はゴルフ幹事の伊藤新一郎氏(60回)であった。天候に恵まれ長野副幹事長(58回)の紹介でハイグレードのゴルフ場で格安にプレーを楽しむことができた。

の音頭ではじまり今回はお互いを知ることにより親密さが増すように全員に自己紹介をお願いして近況や思い出話をしてもらった。

盛り上がったところで福引き大会を行い、さらに後藤貞之氏(62回)のリードで校歌の斉唱を行った。参加者の高田須子さん(63回)の父故工藤寛氏(29回)が作詞した野球の応援歌「燈の灘」の斉唱も行った。最後に現在も名古屋でパンを焼いている黒猫パンの稲井稔さん(60回)の万歳三唱と松本順子副会長(白40回)の閉会の辞で総会の幕を閉じた。

西条金融協会

伊予銀行 愛媛銀行 愛媛信用金庫 東予信用金庫 百十四銀行
 広島銀行 香川銀行 西条市農業協同組合 四国労働金庫

近畿道前会

幹事長 圖子洋志 (69回)

近畿道前会総会報告

2016年度近畿道前会総会は6月25日(土)「ホテルグランヴィア大阪」に於いて、三浦東八近畿道前会会長の開会挨拶を初めとして開催されました。

総会は村上俊行道前会会長、石崎学西条高校校長、西条市役所より山下建樹教育委員会管理部長(青野市長の代理)、越智三義西条市産業経済部長、武田仁志西条市役所道前会幹事長代理、東京道前会より一柳ユカリ東京道前会会長代理、三谷誠一愛媛県大阪事務所長、等々沢山のご来賓と70数名の近畿道前会会員の参加で盛大に開催されました。

総会プログラムは、第一部…来賓挨拶と年度活動報告/会計報告、第二部…西条高校OBの方による講演会、第三部…懇親会、抽選会・校歌斉唱の3部構成で実施いたしました。

講演会では、80回卒 胡光愛媛大学法文学部教授に「四国遍路と世界遺産」という演題でご講演頂き、会員にとっても大変身近なものであり素晴らしい講演内容に全員が聞き入っていました。

第三部は、115回卒の若人数名による乾杯の発声で懇親会をスタート。お楽しみ抽選会や会員のかくし芸の披露、西条所縁の物産展示販売会等アットホームな雰囲気の中に閉幕となりました。

参加者全員で校歌斉唱をしたあと来年の再会を約束し閉幕となりました。

2017年度近畿道前会総会開催予定

2017年6月3日(土)

10時受付開始 10時30分開会

1、近畿道前会歩こう会

近畿道前会「歩こう会」は2016年度には2月と10月の2回、活動を行った。

2月には京都の建仁寺、祇園での食事、京都白川川の歴史散策を行った。

10月には京都御苑見学を中心に食事やお茶を楽しんだ。

2、近畿道前会ゴルフ部活動報告

近畿道前会ゴルフ部は5月と11月の2回コンペを行った。部員は大人年齢となってきたが、それでも元気でゴルフを楽しんだ。



岡山道前会

幹事長 三浦賢稔 (58回)

岡山道前会便り

平成28年度の岡山道前会の総会は、6月11日に岡山市の「アークホテル岡山」において母校から石崎校長、本部から村上会長のご臨席を賜り、会員16名の参加を得て開催いたしました。

総会は、いままでに鬼籍に入られた方々のご冥福をお祈りし黙祷をささげたと、菅会長の挨拶に引き続き、石崎校長及び村上会長から要旨、次のようなご挨拶、ご報告をいただきました。

母校 石崎校長

1、昨年 創立120周年記念事業を執り行ったこと。この行事のひとつ

として、十河先輩が大手門に掲げたと伝えられる地球儀を模したものを再現、披露したこと。

2、新体育館が完成し、併せて落成式典を挙行了したこと。この緞帳は卒業生の日浅和美氏が石鎚山を描いたものを道前会から寄贈いただいたこと。

3、教科再編で「国際文理科」を新設したこと。ダーウィンの進化論(変えるものが生きていける)の如く進化していききたいこと。

4、創立時の先生で校章を描いた高瀬半哉氏の御縁で篤志家から多額の奨学金を寄付いただき、毎年2名の生徒に給付していること。

5、今後とも、次をモットーに鋭意取り組んでいく決意であること。

(1) 誇りに思えること。
(2) 地域を支えること。
(3) 世界に通ずること。

道前会 村上会長

1、創立120周年記念行事関連で多大のご協力を賜ったことに感謝したこと。

2、卒業50周年行事(母校の卒業式に陪席)を伝統化していきたいこと。

3、イギリスなどへの短期留学を引き続き支援していきたいこと。

4、野球の早慶戦を西条市で行う計画があること。(早大監督が卒業生の縁)

議案審議では、特に異論なく、原案通り承認されました。

役員の変更については、副会長の綾部知美氏が退任し、後任に佐竹恭介氏が、幹事に新たに工藤隆氏がそれぞれ選任されました。

会員の顕彰では、傘寿を迎えられた(54回生)2名(松本良子、山本美子)に記念品を贈呈しました。

懇親会は、佐竹副会長の乾杯の音頭で開宴し、会員の近況報告とカラオケで盛り上げたあと、三浦和志(82回)の中締めで来年の再会を祈念しました。

広島道前会

会長 大下美恵子 (69回)

広島道前会便り

平成28年度の総会・懇親会は11月6日(日)12時よりホテルセンチュリー21広島にて23名出席のもと開催されました。母校から石崎校長、本部からは村上俊行会長のご臨席を賜りました。

授業開始のチャイムで総会が始まり、会長挨拶、来賓ご挨拶、役員紹介に続き新しく作成された会則についての説明、会計報告を致しました。また新たに監査役として一色敬義さん(53回)が選任されました。

懇親会は会長挨拶に続き(49回)佐竹さんの乾杯の音頭が始まり、祭囃子の流れる中での和気満々とした会食となりました。出席者の自己紹介や、欠席者のメッセージ代読を行い、会の終盤には(113回)の池下翔哉さんと(同)岩本淳秀さんのコンビによる応援エールを合図に、全員で高らかに校歌斉唱。一色さん(53回)の一本締



東京海上日動のTOP QUALITY代理店

火災保険・生命保険
傷害賠償責任保険・自動車保険

67年の信頼と実績
超保険ショップ

(株)村上保険サービス

明彦 (64回)
公晴 (96回)
上木宏将 (101回)
村上高木 (102回)
岩本幾島 (88回)
星加 (88回)

〒793-0030 西条市大町197-1
TEL 0897-55-3827 FAX 0897-55-3829

ホームページ

村上保険サービス

検索

めで閉会しました。
 今回総会案内は、最新版の道前会会員名簿に記載されている広島県在住会員203名全員に、広島道前会近況報告と併せて送付しました。欠席者からも多数メッセージが寄せられ、出席者は2名の現役大学生を始め初参加の方も多く、諸先輩の皆さんのお話しにも興味津々でした。
 会場内に笑顔の輪が広がり次期総会での再会を約束し、散会しました。
 次回総会は10月に予定(案)。開設準備中のホームページにも掲載いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしています。多
 ご指導よろしくお願いたします。



松山道前会

会報部長 渡部(横井)英子 (76回)

松山道前会活動報告

一日と秋の深まりを感じるようになってきた十月三十日、平成二十八年松山道前会総会が東京第一ホテル松山で開催されました。一昨年度から南予地区にお住まいの会

員の皆様にもご案内をし、南予地区の同窓生も含めて会員七十六名の出席がありました。また来賓として、母校から石崎学校長、道前会本部から村上俊行会長(58回)・寺川和夫事務局長(65回)、今治道前会から西辻勝平会長(52回)のご出席を賜りました。

総会は例年通り、安藤敏朗事務局長(68回)の司会進行で開会。関子英雄氏他九名の物故者に黙祷を捧げた後、出席者全員で校歌を斉唱しました。藤本諫男会長(58回)による開会挨拶に続き、石崎校長・村上会長より、祝辞をいただきました。来賓報告の後、議事に移り、松山道前会の活動報告や平成二十七年年度の収支報告があり、満場一致で承認されました。引き続き、聖風会理事長・真鍋敏朗氏(58回)による「老後をどう生きるか」をテーマとする講演があり、出席者全員が熱心に聞き入りました。講演会終了後、亀岡マリ子副会長(65回)の乾杯の音頭で懇親会に入り、卒業期別に配置されたテーブルで旧交を温め合いました。最後に、徳永周三副会長(69回)が会員同志の結束を確認し、三本締めで総会を閉じました。

今回の総会には大学生(114回)の出席があり、いつもより会場が若々ぎました。松山道前会では学生の方々に参加しやすいように、総会出席の方に対して学割を適用しています。ぜひ活用していただき、今年度の総会にも若い会員の皆様が出席してくださいと、さらに会場が盛り上がるのではないかと思います。併せて事務局では一人でも多くの会員に出席していただくために、開催日・時間についても検討しています。会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

その他、親睦ゴルフコンペを毎年二回開催しています。春季ゴルフコンペを五月二十八日、チサンCC北条で行いました。入賞者は次のとおりです。(参加者一〇名)
 優勝 日野俊和(83回) N 73.0
 準優勝 長井榮二(61回) N 74.0
 三位 戸田峯文(68回) N 75.4
 B G 日野俊和(85回) N 75.4
 また、十月二十二日、松山ロイヤルGCで行われた秋季コンペの入賞者は次のとおりです。(参加者一〇名)
 優勝 安藤敏朗(68回) N 73.4
 準優勝 藤本諫男(58回) N 74.0
 三位 日野俊和(83回) N 75.4

B G 日野俊和 G 85
 年々参加者が減っていますが、同好会としての役割が果たせるよう努めていきたいと思えます。



道前会西条市役所支部

幹事長 藤岡 正 (76回)

道前会西条市役所支部便り

西条市は、昨年11月に就任した本会会員でもある玉井敏久市長のもと、「市民ファースト」の考えにたち、「ワクワク度日本一の西条」を目指して、「市民主役の西条」に住みたいまち西条「市民と進める行財政改

革」夢が持てるまち西条「つながら広がる西条」の五つの基本政策を推進し、チーム西条一丸となって全員参加型のまちづくりに取り組んでいるところです。
 さて、当支部は、平成28年度総会を平成29年2月22日、ベルフォーレ西条にて開催しました。当日は、来賓として道前会から村上俊行会長、寺川和夫事務局長、学校から石崎学校長のご臨席を賜り、総会では28年度事業報告及び決算報告、29年度予算案を承認・可決し、役員改選では武田仁志会長(75回)、柳瀬康治副会長(70回)を選任しました。

懇親会では、村上会長、石崎校長から祝辞をいただき、玉井市長の挨拶、寺川事務局長の乾杯の発声の後、約80名の参加者が世代を超えて和気あいあいと親交を深めました。
 当支部は平成29年1月現在で、348名の会員を擁し、若い世代の入会も続いておりませんが、引き続き会員相互の親睦と融和を図るとともに、母校に最も近い場所に位置する支部として、今後も微力ではありますが、西条高校の発展に協力させていただきます。



美しさとやすらぎを創造する...

フジワラ化学株式会社

— 内外装仕上塗材・DIY製品・健康食品・教材用粘土の製造販売 —

会長 曾我冬人 (77回卒)

〒799-1342 西条市新田94 TEL (0898) 64-2421 FAX (0898) 64-4034
 URL : <http://www.fujiwara-chemical.co.jp> E-mail : info@fujiwara-chemical.co.jp

同窓会だより

同窓会 燦々会に出席して

矢原 登 (58回)

平成 28 年 10 月 14 日 燦々会 (昭和 33 年卒業) に出席の為、JR 赤穂線日生駅より電車に乗って西条に向かう。約 1 時間で岡山。特急「しおかぜ」に乗り換える。瀬戸大橋を渡ると香川県。観音寺を過ぎると懐かしい燦灘が目に入ってくる。そして今では名前の変わった四国中央市を通り新居浜に停車。中萩を通過。目的の西条に到着。

早速、お世話頂いたホテルにチェックイン。既に遠方より出席する同級生数人の皆さんが一室に集まって、瀬戸内の伊吹島で獲れた煎り干しを肴に酒を嗜みつつ談笑していました。仲間に入れてもらって楽しい一刻の後、皆で駅前二階にある居酒屋で夕食兼飲み会。しばらくすると次から次へと提灯に明かりを灯した「だんじり」が行進して来た。太鼓の体に響く音を聞きながら、昔はこんな事あったかなあと思いつつ見とれてしまいました。

翌日は、有志でゴルフを楽しんだ後、夕方同窓会が行われる「国民休暇村」へ用意された送迎バスで移動。到着した後お風呂に入ったり談笑したり。やがて同窓会が始まり型通りの進行。しかし今回で 19 回目を迎えた燦々会の集まり。あっという間に打ち解けて和やかな楽しい宴会を過ごさせて戴きました。

更に翌日 (16 日) は、母校の体育館に寄贈された緞帳の見学。上部に思い出深い校章のある石鎚山を描いた見事なものでした。午後は、西条祭りのクライマックスお宮入りの見物です。午後 4 時を過ぎると桜並木の武丈の土手に並ぶ 70 台近い「だんじり」。やがてお宮入りをさせまいとする十数台の「だんじり」とお宮入りをしようとする神輿。加茂川の流れの中で暗くなるまで提灯をつけての 30 分を超える練り合い。腹に響く太鼓と鉦の音を聞きながら故郷の秋祭りを堪能しました。

今年も同窓会開催のお世話戴いた方々から心より御礼申し上げます。

私の場合、初めて出席したのが還暦の年、平成 12 年。東京の皆様のお世話で開催された箱根でした。以来、大阪・名古屋・西条・松山・岡山 (複数回の開催もあり) で行われた同窓会に参加してきました。西条高校を卒業以来西条を離れた私にとって、生まれ育った町・西条を思い出させてくれる同窓会を楽しみにしています。次回開催は平成 30 年 4 月との事。75% の方が傘寿を迎えた年に開催されます。多くの皆様とお祝いが出来ます様に!!



『西条高校第 59 回卒業生 同窓会だより』

赤星光毅 (59回)

『喜寿のお祝い会』を記念する同窓会を、さる 10 月 23 日 (日) 24 日 (月) に今治にて行いました。

一日目『今治国際ホテル』(受付・13 時 30 分〜14 時 00 分) に集合し、まず今治城見学 (14 時 00 分〜16 時 30 分) の後、ホテルで一服し、18 時 00 分同窓会の宴が始まりました。

司会 (川原光明君・川又暁子さん) の音頭で、代表挨拶・黙祷・乾杯と進み、安部捷男君、園延弘樹君、村田明子さんの挨拶があり、いよいよ大宴会が始まりました。名司会者 (万条克己君・中原俊三郎君) の進行で、カラオケを中心に、歌あり、踊りありで、時が経つのを忘れての大盛り上がりでした。又、校歌・応援歌・高校三年生の全員合唱は、例年通り大いに勇気づけられました。

さて、二日目は、ホテルを 8:20 に出発。まず大島の観潮船にて、来島海峡廻り・潮流体験をしました。来島の急流とうずしお、来島の島々を間近に見て、すっかり心が慰められました。

途中、『小島・おしま』の砲台跡を説明された時には、58 年前の高校三年時の最後のお別れ遠足 (4 組と 6 組の合同) で来たのがここだったのかと思ひ出し、あの時踊ったフォークダンス『マイム・マイム』『オクラホマミキサー』の曲が自然にわいてきて、甘酸っぱい青春の思い出に浸りました。次に大三島の大山祇神社に行き、全員で七十七歳のお祝いをしていただきました。その後、多々羅しまみ公園『道の駅』にて昼食をとり、残り時間をそれぞれが、記念館見学・温泉浸り・買い物などで楽しんで、15:00 に帰路につきました。

今治駅・今治国際ホテルでは、またの出会いを約束しながら名残を惜しむ姿があちこちで見られました。

特に二日目は、天候にも恵まれ、海も穏やかで、それに川又暁子さんの素晴らしい案内が加わり、大変思い出深い一日となりました。

二日間を通じ事故なく、たくさんの思い出ができた有意義な同窓会になったと思います。

お礼の言葉
秋の候となりました。先日は『喜寿同窓会』に当り何から何までほんとうに御世話になりました。御疲れのことと存じます。御陰様で楽しい一時を過ごさせて戴きました。

た。ほんとうにありがとうございます。御礼が遅くなってすみません。取り急ぎかしこ。

平成二十八年十一月一日
砥部町 久米 恵子



『いつまでも絶えることなく 友達でいよう』 第 67 回同窓会

七年前より準備を続けていた世話人一同

平成 29 年 3 月 1 日、高校を卒業して、半世紀、50 年の節目を迎えました。一世紀の半分といえども、考え方によれば、単に一年一年の積み重ねでしかなく、何ということはありませんが、「思えば、遠くへ来たもんだ」いえいえ、「思えば長く生きてきたもんだ」ということになるのでしょうか。

母校に栄光あれ!

「青春とは人生のある期間をいうのではなく、心の様相を言うのだ」という訳詩がある。しかし、それは、青春時代を通り過ぎた人々の負け惜しみに過ぎない。

私たちは、今、この時を情熱をもって生き切る。 **2 回目の卒業式を迎えた第 67 期生有志より**

二度目の卒業式には、年のせいかわ、思いのほか感動があり、参加させていただいた67回の仲間内には、ハンケチで目頭を押さえるものも少なからず。送辞、答辞も、パンカラだったあの頃は、異なる点もあり、時代の流れを感じました。

お堀の水も、おやらいの木々も、きれいになり、木造校舎はなくなり、体育館をはじめ学校全体が立派に整備されておりました。この素晴らしい教育環境に恵まれた中で、母校西条高校が、かつての栄光を取り戻すべく一層の努力・精進に励まれることを強く願うものであります。

さて、続いて、12時より、ベルフォーレにおいて、同窓会を行いました。参加人数111名、一人の欠席者もなく、時間通りに始まり、記念撮影、筆曲とフルト演奏、開会の辞、世話人代表挨拶、乾杯と続き、それから、本当に、あつという間の二時間が経過しました。クラス別出し物では、音は少々外れながらも肩を組みながらの、1960年代の懐かしの名曲を合唱、校歌、そして、最後には、全員が手をつなぎ、輪になって、「いつまでも絶えることなく友達でいよう」と歌いました。物理的に物故者が増えていく中で、切実な気持ちでしょうか。

青春は、花火のようなものだと言った人がいました。逆にサミエルマンのように、いつまでも青春に固執する人もいます。私たちは、高校卒業後、高度経済成長の中で、青春を謳歌し、そして、これまでの年月を重ねてきました。いかに心の持ち様とは言葉、この歳で青臭く青春を主張することはいたしません。しかし、昨今の体制に流される社会の中で、また、根底から社会の規範や価値観、またシステムが変化するのである第四次産業革命進行の中で、私たちは、子や孫のために、若かったあの頃の情熱を取り戻して、貧しくとも、心豊かで人間的な生き様を見せる仕事が残っているとされています。今こそ、青春の力が必要とされている時なのです。

しかし、しかし、何をいさら...
 そこまでできずとも、残りの人生、力を尽くして、生き切ることに注力していきたいと考えております。



還暦同窓会

看護科一期生
 星加(藤原)マヌミ(75回)

早いもので看護科一期生は昨年還暦を迎える年となりました。

久々にランチをする中で「人生の節目の年を迎えたので皆で集まりたいね。」という話になり、同窓会をすることにしました。

道前会名簿から情報を収集しましたが、三分の一の方の住所や連絡先が不明でした。
 連絡しても、家族の介護があったり本人が病氣と闘っていたりで、当日参加者は生徒8名、先生2名の10名でした。

少人数ではありましたが、今は亡き竹村先生を偲びながら楽しい一時を過ごしました。

振り返ると、昭和47年4月に開科され一期生として40名入学。共に学び共に涙を流したことが懐かしく思い出されます。

閑散とした体育館での戴帽式。登校拒否したいくらい辛かった病院実習、帰路弁当で食中毒になった修学旅行、体育館での看護科ダンス...話はつきませんでした。

残念ながら三〇期を最後に看護科は閉科となり、私たち看護科卒業生にとっては、西条高校は「まぼろしの母校」となりました。

今回のことで、初めて道前会館にお邪魔させていただき、思い出話やなつかしい方との再会もあり嬉しく思いました。ありがとうございました。そして、卒業生たちのお世話をさせていただきました。感謝致します。



理科第5期

(昭和50年卒)

同級会報告

藤田仁志・山本いづみ(75回)

平成28年5月15日に理科第5期生(昭和50年卒)の同級会が大阪梅田にて行われました。40名中17名が、西条

からはもちろん東京から鹿児島までの各地より集結しました。これまで節目の年には西条で同級会を行っていましたが、同級生は、全国に散らばっており、特に女性近畿圏に集まっているとのことで、初めて西条を飛び出し、猪川弘徳幹事・山本(旧姓加藤)いづみ幹事のもと、大阪での開催となりました。還暦を過ぎましたが、懐かしい顔がそろい、みんな元気ですが、オリーブンスペースの上品な店でしたが、「四国の連峰...」が響き渡り、店からも再三注意を受けるほど盛り上がりました。時はあつという間に流れ、名残惜しいながらも、次回の変わらぬ再会を約束しつつ、また全国に戻っていきま

した。
 定期同級会の席で急遽持ち上がった「還暦」を祝う同級会。2年続いたの開催、初めての大飯。一抹の不安を残しつつ幹事2人の準備が始まりました。第1回準備会議は昔話に終始して決まったのは開催日のみ。その後、案内状の通信手段を「メール」と決めたものの、連絡網の整理・出席の確認に思いのほか手間がかかり、仕事合間の「同級会」メールチェックが2人の日課となりました。しかしこの間、久しぶりの方々からの近況報告があり、地震や桜島噴火の安否を尋ねるメールが

グループ内で飛び交うなど、思わぬ収穫をあげつつ、無事5月15日を迎えることができました。西条地元幹事のこれまでのご苦労が身にしみる数ヶ月間でした。当日は、40年前にタイムスリップするとともに、還暦を過ぎてなお現役で活躍する同級生の話に元気をもらいつつ、また次回、機会があればと思う次第です。



母校に立つ同窓教職員

卒業回	氏名	教科	卒業回	氏名	教科
69回	高橋 徹	講師・商	84回	矢野裕房	教諭・理
71回	一柳 幸利	講師・保体	86回	近藤あけみ	教諭・英
72回	青野 洋士	講師・保体	87回	藤原 博	教諭・歴史公
72回	村上 勇人	非常勤・実習助手	87回	近藤 浩志	教諭・商
77回	神野 雄子	実習助手	87回	渡辺 洋子	教諭・商
79回	川口 幸治	校長	88回	田邊 水江	教諭・英
80回	桑原 恵子	教諭・英	90回	田代 知典	教諭・理
83回	宮崎 健	教諭・理	90回	菅 哲也	教諭・保体
83回			90回	三崎 直毅	教諭・音

本部及び各支部役員

一、本部

- 道前会本部 事務局
〒793-8509
西条市明屋敷234
西条高校内道前会館
☎0897-53-2192
FAX0897-53-2192
振替口座01680-4-8745
- 会長 真鍋 和年 (66)
 - 副会長 栗田 肇 (58)
 - 理事 近藤 勝志 (56)
 - 理事 高橋 勝行 (85)
 - 理事 年森(入交)恭子 (79)
 - 理事 武智(亀)晴子 (56)
 - 理事 西原 俊基 (58)
 - 理事 森実(藤原)真知子 (60)
 - 理事 遊口 親之 (62)
 - 理事 伊藤 孝司 (64)
 - 理事 高石曾我部シユ子 (64)
 - 理事 井上 隆寿 (65)
 - 理事 安永 道子 (66)
 - 理事 徳永 博久 (67)
 - 理事 武智(日野)美恵子 (67)
 - 理事 森(森)多美子 (68)
 - 理事 一柳 武志 (69)
 - 理事 國田 典良 (70)
 - 理事 越智 将文 (72)
 - 理事 越智 哲久 (73)
 - 理事 石川 智久 (73)
 - 理事 鳥谷 浩 (76)
 - 理事 一色(皇加)朝美 (76)
 - 理事 村上(上)直子 (77)
 - 理事 武田 聡 (77)
 - 理事 秦(安藤)千草子 (78)
 - 理事 藤田 道則 (84)

二、支部

- 東京道前会
〒105-0012
東京都港区芝大門1-7-4
トリアザガーデン6F
☎03-5733-2313
FAX03-5401-4762
- 会長 山内 重徳 (67)
 - 副会長 近藤 清史 (64)
 - 理事 一柳(二柳)ユカリ (66)
 - 幹事長 明比 章 (70)
 - 副幹事長 猪川 正徳 (74)
 - 理事 津田(林)由美 (74)
 - 監事 今井 洋 (70)
 - 理事 得永 哲也 (74)
 - 理事 福本 信彦 (74)
 - 理事 瀨川 京子 (74)
 - 理事 村上 京子 (97)
 - 理事 寺田(鈴木)紀子 (70)
 - 理事 曾我 夏人 (81)
 - 理事 和田 卓也 (86)
- 東海道前会
〒461-0011
名古屋市中区白壁4-28
山路法律事務所内
☎052-931-6306
FAX052-931-6785
- 会長 山路 正雄 (50)
 - 副会長 渡部 宏 (51)
 - 理事 松本 順子(白) (40)
 - 理事 森山 桂一 (60)
 - 理事 浅木 慎一 (72)
- 近畿道前会
事務所 圖子洋志
☎06-7635-1433(平日のみ)
- 顧問 堀切 民喜 (50)
 - 会長 工藤 治夫 (58)
 - 副会長 高須賀(松本)和子 (61)
 - 理事 岩崎 秀雄 (65)
 - 幹事長 圖子 洋志 (69)
 - 副幹事長 越智 研二 (65)
 - 会計監査 土岐 剛三 (58)
- 副幹事長 長野 達夫 (58)
幹事 矢野 延美 (58)
伊藤 稔 (71)
- 岡山道前会
〒700-0926
岡山市北区西古松西町5-25-1002
事務局 三浦賢稔
☎086-243-1424
- 会長 菅 尊士 (58)
 - 副会長 佐竹 恭介 (67)
 - 幹事長 三浦 賢稔 (58)
 - 幹事 門田 清強 (53)
 - 幹事 高井 克清 (53)
 - 幹事 河原 刻也 (52)
 - 幹事 矢原 登 (58)
 - 幹事 土居(大館)玲子 (59)
 - 監査 工藤 隆 (71)
 - 監査 安永 雄 (53)
- 広島道前会
〒730-0847
広島市中区舟入南3-5-11-1
事務局 大下美恵子
☎082-2208-4202
相談役 佐竹 優 (49)
- 相談役 一色 敬義 (53)
河端 正平 (55)
伊藤 光秋 (56)
大下(夏目)美恵子 (69)
幹事 大下 真豪 (68)
幹事 松本 真理 (88)
幹事 松本 敬義 (53)
監査 一色 敬義 (53)

松山道前会

- 松山道前会
〒791-0303
東温市北方722-2
㈱フオーネット内
☎089-960-6338
FAX089-966-1038
- 相談役 三浦 晃 (49)
 - 理事 日野 利夫 (57)
 - 理事 松浦 弘 (57)
 - 理事 藤本 諫男 (58)
 - 副会長 亀岡(高橋)マリ子 (65)
 - 理事 木藤 義典 (68)
 - 理事 徳永 周三 (69)
 - 理事 渡部(横井)英子 (76)
 - 事務局長 安藤 敏朗 (68)
 - 監査 寺町 達朗 (77)
 - 監査 榊 鏡猛 (60)
- 今治道前会
〒799-1522
今治市桜井1-11-1
㈱旭東産業内
☎0898-48-5637
- 会長 西辻 勝平 (52)
 - 副会長 村上(寺川)小夜子 (63)
 - 理事 長井 孝司 (70)
 - 理事 戸田 廣行 (72)
 - 理事 安藤 志朗 (78)
 - 理事 中須 裕二 (85)
 - 理事 新居田 孝幸 (103)

定時制道前会

- 定時制道前会
〒793-8509
西条市明屋敷234
西条高校内
☎0897-56-2030
- 副会長 真木 光夫 (55)
 - 理事 松本 守正 (57)
 - 理事 山崎 輝雄 (74)
 - 幹事 大森 正清 (60)
- 西条市役所道前会
〒793-8061
西条市明屋敷164
☎0897-56-5151(代)
FAX0897-52-1200
- 会長 武田 仁志 (75)
 - 副会長 柳 康治 (70)
 - 幹事長 武田 聡 (77)
 - 監査 白川 裕三 (78)
 - 監査 山内 隆和 (79)

国際・文化教育振興会
西条高校は、過去の歴史を大切にしつつ、しかしその呪縛に捕らわれずに新たな歴史を刻んでいかななくてはなりません。グローバル化時代の現状把握と人材育成に関する新しいビジョンとミッションを鑑みて、平成29年度を以て「国際・文化教育振興会」を改めて「国際・文化教育振興会」(会長・石川智久)を設立しました。この新しい振興会は、西条高校生のイギリスやアメリカへのスタディーツアーをはじめ各種文化活動を支援します。

今治道前会

- 会長 西辻 勝平 (52回) 旭東産業
 - 副会長 村上(寺川)小夜子 (63回)
 - 副会長 長井 孝司 (70回)
 - 幹事 戸田 廣行 (72回)
 - 幹事 安藤 志朗 (78回)
 - 幹事 中須 裕二 (85回)
 - 幹事 新居田 孝幸 (103回)
- 野球場OB会 今治支部長 金子 哲夫 (60回)
- 連絡先 今治市桜井1-11-1 旭東産業 TEL:0898-48-5637 FAX:0898-48-5635



掲示板の寄贈

今回卒業50年を迎えた67回生から、本館東側入口付近にアルミ製のりっぱな掲示板を設置していただきました。



緞帳見学

第24号の会報でご案内していましたように、平成28年10月15日10時30分大手門のくぐり戸を開けていただき、60余名の方を校内にご案内し、木造新体育館に設置された緞帳を見学いただきました。多くの方が絵の素晴らしさに感銘を受けておられました。今後も緞帳見学を希望される方は事務局にご連絡ください。



新 西条市長に玉井氏就任

本校82回卒業生の玉井敏久氏が、「ワクワク度日本一の西条市を作ろう」と呼びかけた市長選挙で、多数の市民の皆さんからの応援を得て、みごと当選されました。そして、平成28年11月28日に初登庁され、玉井市政がスタートしました。今後のご活躍を願っています。

- 副市長 武田 仁志 (75回)
- 教育長 柳 瀬 康治 (70回)
- 監査委員 越智 典雄 (70回)

第5回イギリス・スタディツアー

2017.3.17~31 実施 国際文理科・普通科10名参加 西条高校理数科長 園部 孝行

いつも温かいお言葉やご協力に対し、道前会の皆様に厚く御礼申し上げます。今回、第5回西条高校イギリス・スタディツアーを実施するに当たり、テーマを「海苔」に絞りました。参加生徒は、西条漁協組合協力の元、半年間かけて海苔の種付けから収穫までを調査研究しました。英国5ヶ所においては、その研究発表を行うと同時に、西条名産の海苔を使ったおにぎりや手巻き寿司をふるまい、エジンバラのマ林海苔会社開発の海苔料理も調理しました。このように、食を通しての異文化理解・交流を図り、多くの関係者と触れ合うことができました。今後も、地域を知り、地域を誇りに思い、地域に貢献でき、世界に貢献できるグローバル人材育成に努めてまいります。



エジンバラのマ林海苔会社にて記念撮影 中央はFiona Houston社長 2017.3.22

お悔やみ

本道前会の最年長理事、藤田嘉夫さん(49回)が、平成28年8月20日にご逝去されました。藤田氏は、地元で同期会のお世話を中心的になさり、道前会の活動に対しても、折に触れ、大変貴重なアドバイスをしてくださいました。ご冥福をお祈りいたします。

福岡道前会の中路幸信会長(62回)が、さる平成28年10月23日に73歳にて永眠されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



寄贈図書目録 H28年度

山荘きっこり物語 遊びの学校とこどもたち 如月 17号	安田佐一郎・千恵子 (66回)	備アライブ・シックス・セブン	66回	安田千恵子氏より寄贈	H28/6
西日本最高峰石鎚山 激震 進化考古学の大冒険	菊地豊栄 (63回)	東京図書出版	63回	菊地豊栄氏より寄贈	H28/8
瀬戸内の海賊 村上武吉の戦い 現代公共政策のフロンティア	菅 靖匡 (79回)	新潮選書	59回	松本慶三氏より寄贈	H28/8
第4回 大原孫三郎・總一郎研究会 報告書	松木武彦 (80回)	新潮選書	59回	松本慶三氏より寄贈	H28/8
歴史に学び未来を拓く I・II・III 如月 18号	山内 讓 (67回)	岡山大学出版会	78回	三村 聡氏より寄贈	H28/8
花のたわごと	三村 聡 (78回)：監修：荒木 勝	ササベ印刷(株)	78回	三村 聡氏より寄贈	H28/8
	公益財団法人 有隣会	岡田印刷(株)	59回	山地安幸氏より寄贈	H28/11
	愛媛県西条市遺族会	東田出版	63回	菊地豊栄氏より寄贈	H29/2
	菊地豊栄 (63回)		61回	加藤春美氏より寄贈	H29/2
	加藤春美 (61回)				

寄贈物目録 H28年度

ノートパソコン一式 73回 石川 智久 H28.4.8

寄附金芳名録 H28年度

49回 同級会 H28.7.11 59回 同窓会 H28.11.9
67回 同窓会 H29.3

お知らせ

◎50年目の卒業式
会員の皆様卒業されて50年目には、後輩の卒業式にご出席いただきまして、晴れやかに巣立ちゆく生徒たちの門出と共に祝福していただきたく、ご案内しております。西条高校第118回卒業式が平成30年3月1日に挙行される予定です。
この卒業式は、68回の卒業生が該当いたしますので多数ご出席下さい。案内状は、また改めて差し上げます。

◎年会費のお願い
これまで『卒業後10年間は年会費を免除する』となっていました。道前会会則の一部変更により今年からは、全ての道前会員の皆様にご協力をお願いすることとなりました。
母校生徒たちの活動を支援するため、出来る限りのご協力をお願い致します。

◎『全早慶野球戦西条大会』開催決定！
日時：平成29年8月19日(土) 場所：西条市ひうち球場
西条高校第73回卒業の高橋広氏が2015年に早稲田大学野球部監督に就任。
そのご縁で「学生野球の魅力」を伝えたい」と『伝統の一戦』を開催。



月 日 10月29日(日)
場 所 ベルフォーレ西条
講演講師 未定

総会の案内は改めてホームページ及び評議員を通じて行います。多くの方のご参加をお待ちしております。